

第6章 元北本線（えちごトキめき鉄道）

平成30年6月2日(土)～6月5日(火)の4泊5日のかつての信越・北陸本線の旅（営業キロ113.8km）は、次のプランで実施。4日とも天や神のご加護もあり好天に恵まれ、無事当初の予定をクリアできる。この間登場する駅舎数は25駅ですべて立ち寄りに成功。これで通算営業キロは9,656km(活動日数479日)となり、目標の1万キロまで344kmとなった。



今回の歩きによりかつての信越本線の高崎から新潟までが、各駅舎立ち寄り”鉄道つたい歩き”にて繋がった。同時にかつての北陸本線である米原から直江津までの区間のうち、未踏破区間は敦賀から糸魚川までとなり、北陸本線への踏破の夢が膨らんだ。詳細はこれから順次ご紹介します。

第1節 旅プラン

○2018年6月2日(土)

大宮(7:46) → 長野(8:43) 輝き503(全指定席:9号車15番D席:12両編成)

長野(9:22) → 妙高高原(10:06) しなの鉄道

妙高高原(10:24) → 新井(10:47) えちごトキめき鉄道

新井～北新井～上越妙高～南高田～高田～春日山～直江津(16.7km)

ホテルセンチュリーイカサ泊 025-545-3111



○6月3日(日)

直江津(5:16) → 糸魚川(5:57) えちごトキめき鉄道

糸魚川～梶屋敷～浦本～能生～筒石～名立～有間川～谷浜～直江津(38.8 km)

ホテルセンチュリーイカサ泊

○6月4日(月)

直江津(5:09) → 新井(5:31)

新井～二本木～関山～妙高高原～黒姫～古間～牟礼(21+18.7=39.7 km)

牟礼(19:02) → 長野(19:25)

東横イン長野善光寺口泊 026-228-1045



○6月5日(火)

長野(7:46) → 牟礼(8:09)

牟礼～豊野～三才～北長野～長野(18.6km)

長野(15:23) → 大宮(16:46) あさま622

第2節 1日目：2018年6月2日(土)：新井～直江津 晴れ

元信越本線のため記載略

第3節 2日目：6月3日(日)；糸魚川～直江津 晴れ

平成30年6月3日(日)、かつて北陸本線であった糸魚川から直江津までの営業キロ38.8kmに挑戦する。糸魚川から直江津まで複線の鉄道網であった。本日も昨日に引き続き快晴であった。北陸新幹線の開業に伴い、北陸本線からえちごトキめき鉄道(日本海ひすいライン)と名称変更。この区間登場する駅舎は、梶屋敷、浦本、能生、筒石、名立、有間川、谷浜の7駅であった。



二日目の朝



久比岐自転車歩行者道

糸魚川市と上越市の市境

平成30年6月3日(日)、かつて北陸本線であった糸魚川から直江津までの営業キロ38.8kmに挑戦する。糸魚川から直江津まで複線の鉄道網であった。本日も昨日に引き続き快晴であった。北陸新幹線の開業に伴い、北陸本線からえちごトキめき鉄道(日本海ひすいラ

イン) と名称変更。この区間登場する駅舎は、梶屋敷、浦本、能生、筒石、名立、有間川、谷浜の 7 駅であった。



糸魚川駅

直江津 5 時 16 分の始発で、日本海の風景を堪能しながら糸魚川に向かう。糸魚川という地名は幼少の頃から断層が縦断する町でインプットされていた。断層ラインを境に東日本と西日本に区分され、正月に食べる餅の形も東日本が角餅、西日本が丸餅であると。いつか糸魚川に足を踏み入れたいと思ったが、今回の歩きで実現でき感無量。



糸魚川駅



始発電車の窓から見る限り、名立駅、筒石駅、能生駅と国道 8 号線から離れたところにあり、駅舎立ち寄りに骨が折れるのではないかと察知。特にトンネル内にあった筒石駅は相当難解になるのでは……。5 時 57 分、奴奈川姫像がある糸魚川駅界隈をじっくり観察し、梶屋敷駅を目指す。名前は不明だが雪化粧のある 3 つの山が目に入る。地元の人に聞いたが判明できず。梶屋敷駅を過ぎた辺りから久比岐自転車歩行者道が直江津駅手前まで続いており、自動車の往来に無関係に歩くことができラッキーであった。この自転車道を走る多数の自転車愛好家のメンバーに出くわす。また、国道 8 号線の鉄道沿線には、JR トンネルはなかったが、この自転車道には白山トンネル、小泊トンネルなどと言った 300m 位

の複数のトンネルを通過する。トンネル内は火照った体を癒してくれた。筒石駅手前で立ち寄った三色丼を食べた店は、タイムリーな時間帯（11時半～12時）に立ち寄ることができてとてもよかった。この店でロストしたタオルの代用を頂く。タオルは日焼け止めの必需品なので助かった。

この店で筒石駅への道筋をお伺いする。「山道で大変だが国道から15分～20分位歩いた先にある」と教えて頂く。筒石駅の看板を見つけ、疑心暗鬼で山道を上る。糸魚川市立磯部小学校が途中にあり。その先に北陸自動車道が走っていた。「こんな山道に駅舎があるのか」と看板に注意しながら歩いた先に「100m先に筒石駅がある」との看板を見つけ安堵する。駅舎前には「40m 地下にホームあり」の旨の表示が掲載されていた。折角だから10分位かけて地下ホームを探索する。これまでの駅舎の中でこのような体験は初でこれからも筒石駅は思い出の駅舎の一つになった。少し手間取ったが、電車の窓から学習していたので筒石駅の前後能生駅と名立駅を無事踏破できる。道の駅の能生での船舶も印象に残る。

久しぶりの40km近い歩きは体力を相当消耗したが、日があるうちに直江津駅に到着できいい思い出になった。同時に日本海の魅力を肌身で感じる北陸本線の旅であった。夕食はホテルのレストランで日本酒（能鷹、久保田万寿など）の飲み比べを堪能する機会を得、より充実した一日を送ることができた。天や神に感謝あるのみ。



糸魚川駅

糸魚川駅方面の風景（北陸新幹線）



海川

大雲寺

詳細な駅舎への立ち寄り模様は次の通り。4時前に起床し準備。4時55分、ホテルからの風景を撮影。5番ホームには5時6分到着するが、糸魚川方面への電車がなく驚く。電車は前の方向に停まっていたが、判明できず。アナウンスで気がつき、50m位ある先頭方面に急ぐ。運よく危機一髪で5時16分発の電車（泊行き1両編成のワンマンカー）に乗ることができる。車両には私の他に1名の乗客が乗っていた。名立駅で下車し、そこから糸魚

川まで私一人となった。ワンマンカーであるが車掌が乗車していて、糸魚川まで一緒となる。切符の確認に車掌がやって来る。このえちごトキめき鉄道の本社は、直江津にあるとのことであった。電車の窓から、本日の歩きの道筋を確認する。駅舎はほぼ海岸線または国道に沿ってあったが、名立駅、筒石駅、能生駅は離れた先にあった。特に、筒石駅は暗闇の中にあったので驚いた。車掌に聞くと、山の中に駅舎があり難しいとのことであった。糸魚川駅には5時57分に到着。JR大糸線の電車が停車していた。6時8分、えちごトキめき鉄道の駅員さんに筒石駅への道筋を教えて頂く。丁寧にインターネットで検索して打ち出したプリントを頂く。6時13分、糸魚川駅前の写真を色んな角度から撮影。奴奈川姫の像が印象的であった。糸魚川からの雪化粧した山々を見つけるが残念ながら判明できず。6時22分、梶屋敷駅に向かってスタート。

6時34分、雪化粧をした山の名称を散歩している方に聞くが、分からず。新幹線に沿った水田地帯を歩く。6時43分、糸魚川市の消火栓を撮影。6時45分、国道に出る。159歩ある海川橋（海川）を渡る。この橋から川の水が海に繋がる場面ははっきりわかった。同時にこの川や橋の名称の由来も理解できるような気がした。7時12分、大和川小学校前バス停（糸魚川バス）を通過。7時23分、大雲寺前を通過。7時25分、糸魚川信用組合梶屋敷支店前を通過し、梶屋敷が近いと察知する。7時27分、本日最初の梶屋敷駅に到着する。



梶屋敷駅への入口

梶屋敷駅

7時29分、駅界隈の街並みを歩く。7時38分、糸魚川わさび園前を通過。7時39分、293歩ある早川橋（早川）を渡る。この橋から川の水が日本海に流れる姿を鮮明に捉えることができる。同時に潮の匂いも漂って来る。橋の中間点辺りに中宿という標識があった。7時46分、少し行った先で、“久比岐自転車歩行者道”を見つけこの道を歩く。この遊歩道は、ほぼ海岸線に沿って直江津駅近くまで続いていた。8時、海岸線で若い女性の姿があった。海岸線から日本海に浮かぶ漁船の姿を何艘も捉える。



久比岐自転車歩行者道



早川橋と日本海



浦本駅

8時10分、そろそろ浦本駅だと思い、国道に戻る。しかし、近そうで遠かった。山裾の賑やか街並みから少し外れた先に浦本駅（8時28分）があった。

この駅から少し行った先で自転車愛好家のグループに出会う。この近辺の日本海の眺めは素晴らしかった。8時37分、山裾に沿った木陰の遊歩道を歩く。8時52分、糸魚川市鬼伏を通過。8時55分、森のトンネルに入る。8時57分、右手に北陸自動車が走っていた。9時1分、橋桁には長く伸びる葛（つた）があった。9時18分、鬼舞（きぶ）通過。9時28分、木浦（このうら）通過。9時48分、195歩ある鱗崎橋を通過。10時7分、能生駅に到着。



能生駅



セブンような犬



道の駅能生



暫く鉄道に沿って歩き、山間のため左折し国道方面に向かう。10時28分、能生保育園があった。10時30分、タオルのロストに気付く。10時35分、336mある白山トンネル前に到着。左手には能生歴史民俗資料館があった。



百川トンネル



久比岐自転車歩行者道

10時43分、セブンのような犬と対面し感動する。10時48分、326mある小泊トンネル前に到着。トンネルの窓から道の駅能生（10時54分）が見える。10時58分、道の駅には観光の船舶が停まっていた。11時7分、161mある百川トンネル前に到着。トンネルを出た先で、昼食タイムになったので魚道亭（11時半～12時）に入り、三色丼を注文する。この店を出る際、顔にかけるタオルをロストしたので頂く。



魚道亭

この店を出る際、筒石駅の道筋を聞く。「山道を登れば行ける」とのことであった。11時51分、藤崎西バス停を通過。12時11分、藤崎（とうさき）通過。12時31分、私の前を慌てて蛇が通過して行く。筒石駅への看板を見つけ、山道を登る。12時40分、糸魚川市立磯

磯部小学校前を通過。12時44分、前方に北陸自動車道を見つける。そこから200m位行った先で筒石駅への看板を見つけ下る。12時50分、筒石駅に到着。



磯部小学校



筒石駅への路



筒石駅

折角だから、40m地下にあるホームまでカーブの緩い階段を下りる。12時58分、地下のホームに到着。炭鉱のようなトンネルを再度上り地上(13時3分)出る。国道に戻る途中、ジョギングしている若いカップルと対面。「筒石駅まで遠いですか」との質問を受ける。「300m位先にあります」と回答。13時15分、筒石駅への案内板前に到着。13時17分、赤い鳥居の神社にお参りし、次の名立駅を目指す。



筒石駅の看板



名立駅

13時50分、糸魚川市から上越市となる。14時3分、391mある大枝トンネル前に到達。朝電車の窓からの記憶が役立つ。川を渡り、北陸自動車道を潜り、川沿いに歩いた先に名立駅(14時35分)があった。駅舎の中には、名立の四季があった。15時4分、遊歩道に戻る。15時10分、国道8号線の道路標識で新潟147km、長岡86km地点を通過。15時19分、茶屋ヶ原トンネル前(117歩)前に到達。15時45分、463mある乳母岳トンネル前到達。15時55分、321mある青木坂トンネル前を通過。16時22分、有間川駅に到着。



有間川駅

16時26分、有間川漁港前を通過。16時36分、141歩ある有間川橋（桑取川）を渡る。16時46分、467mある長浜トンネル前に到着。17時7分、郷社阿比多神社前を通過。17時20分、水色の陸橋を渡り谷浜駅に。17時52分、虫生バス停前を通過。17時58分、海洋フィッシングセンター前を通過。18時11分、国道から直江津海水浴場方面に進路変更する。暫く歩くとまた分岐点があり、海岸線でないコースを歩く。結果的には正しい選択であった。18時24分、上越五智看護老人ホーム前を通過。18時52分、居多ヶ浜バス停（頸城バス）を通過。18時37分、五智如来前を通過。18時58分、昨夜飲んだ“軍ちゃん”前を通過。直江津駅には19時2分到着。ホテルのレストランで飲み比べを頂きながら、新井在住の店長と世間話をし、本日の疲れを癒す。本日の営業キロは38.8km。万歩計は65,013歩であった。充実した一日であった。



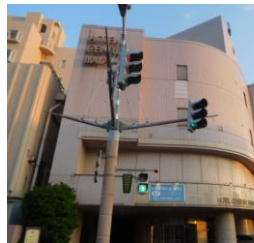
谷浜駅



海洋フィッシングセンター

五智如来

直江津市内



直江津駅

ホテルレストランで飲み比べ

三日目以降は元信越本線のため記載省略。